

第17回岩手障がい者技能競技大会
「チャレンジいわてアビリンピック 2019」

縫製 競技課題

1 課題 エプロン製作

裁断済みの支給された材料で右図スタイルのエプロンを製作しなさい。

2 競技時間 3時間00分 打切時間 3時間30分

3 注意事項

- (1) ミシンの調整は、各自で行う。
- (2) 支給材料は、欠陥のない限り再支給はしない。
- (3) 競技中の工具の貸し借りは禁止する。
- (4) 競技が終了したら審査員に申し出る。



4 仕様

- (1) 肩 ひ も：2cm のでき上がり幅で三方に端ミシンステッチをかける。
- (2) 腰 ひ も：4cm のでき上がり幅で三方に端ミシンステッチをかける。
- (3) ダーツ縫い：中縫いをする。縫い代は中心側へ倒す。
- (4) ポケット
ポケット口：1cm、2cm で三つ折り縫いとする。
ポケット付：(図1) ポケットの付け方を参照する。
端ミシン、押さえ金の幅 (0.6cm) のダブルステッチとする。
- (5) 見返 し：見返し布の下側を 0.5cm、1cm の三つ折り縫いとする。
- (6) 肩ひも付け：見返しに挟み付ける。
- (7) 袖ぐりカーブ：1cm 折りで、袖ぐりから胸のステッチ幅は 0.6cm の押さえ金の幅でかける。
- (8) フリル
フリル作り：できあがり幅 10cm、裾、両端は 0.5cm の三つ折り縫いとする。
フリル付け：ギャザーを寄せ、身頃の裾につけ (付け縫い代両端はわき縫いで挟み付ける)、押さえ金幅 (0.6) のステッチをかける。
- (9) 脇：1cm、1.5cm で三つ折り縫いとする。ステッチの順序はフリル付けの後、腰ひもを挟み込み、脇縫いをする。

5 支給材料

表地：裁断済み無地ブロード生地を2着分支給する。(1着分は練習用とする)

袖ぐりはバイアステープを接着し、ロック処理済みの物を持参する。

フリル上部はロック処理済みで、三方を三つ折縫いし、ギャザー寄せできる状態の物を持参する。

縫製競技使用用具一覧表

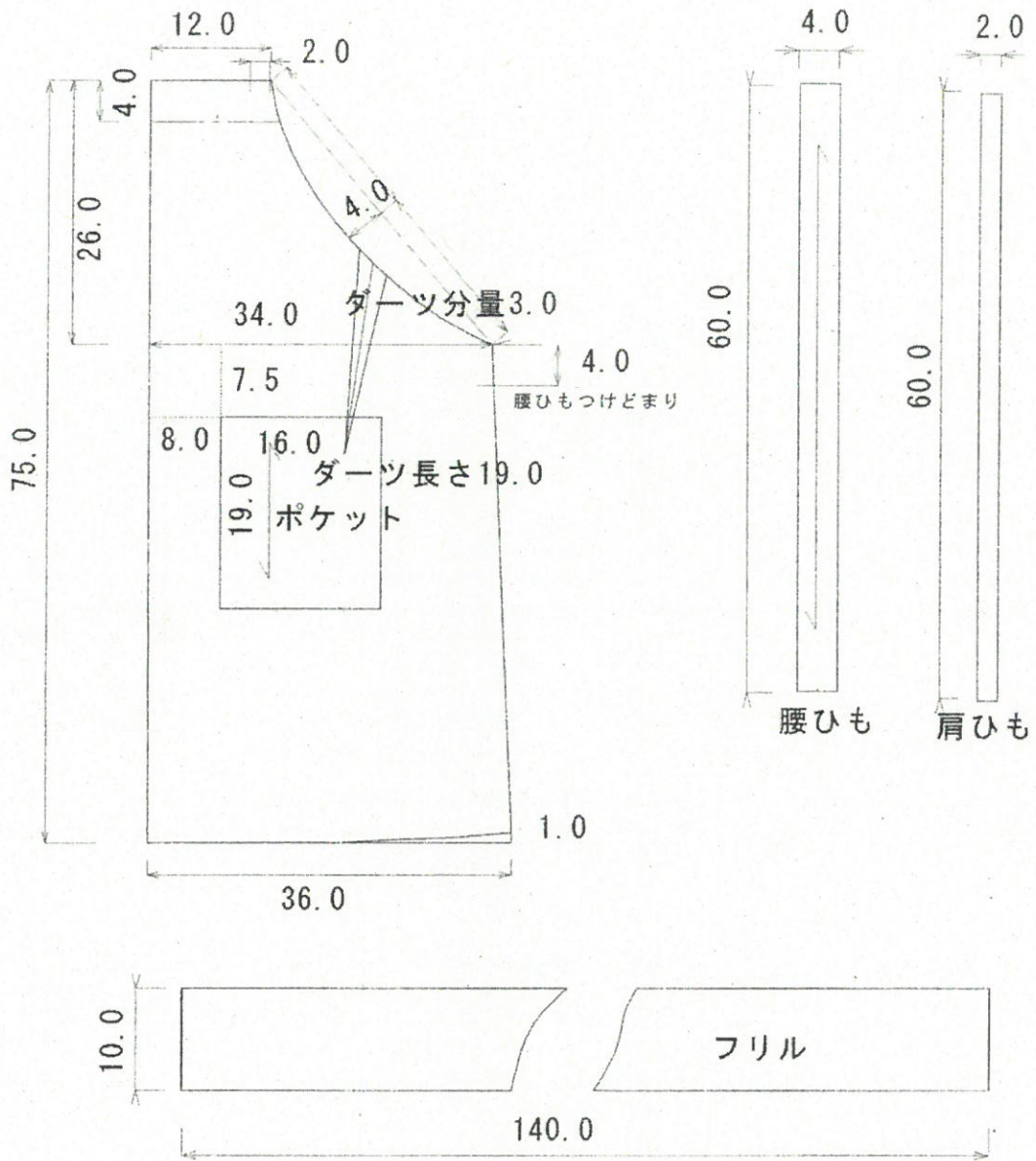
1 競技者が持参するもの

品名	規格	数量	備考
縫製用具類一式	適宜	適宜	家庭用ミシン、ミシン糸、敷布、裁ばさみ、小ばさみ、ものさし、ステッチ定規、アイロン、水入れ、ハケ（小） 他必要な補助具等

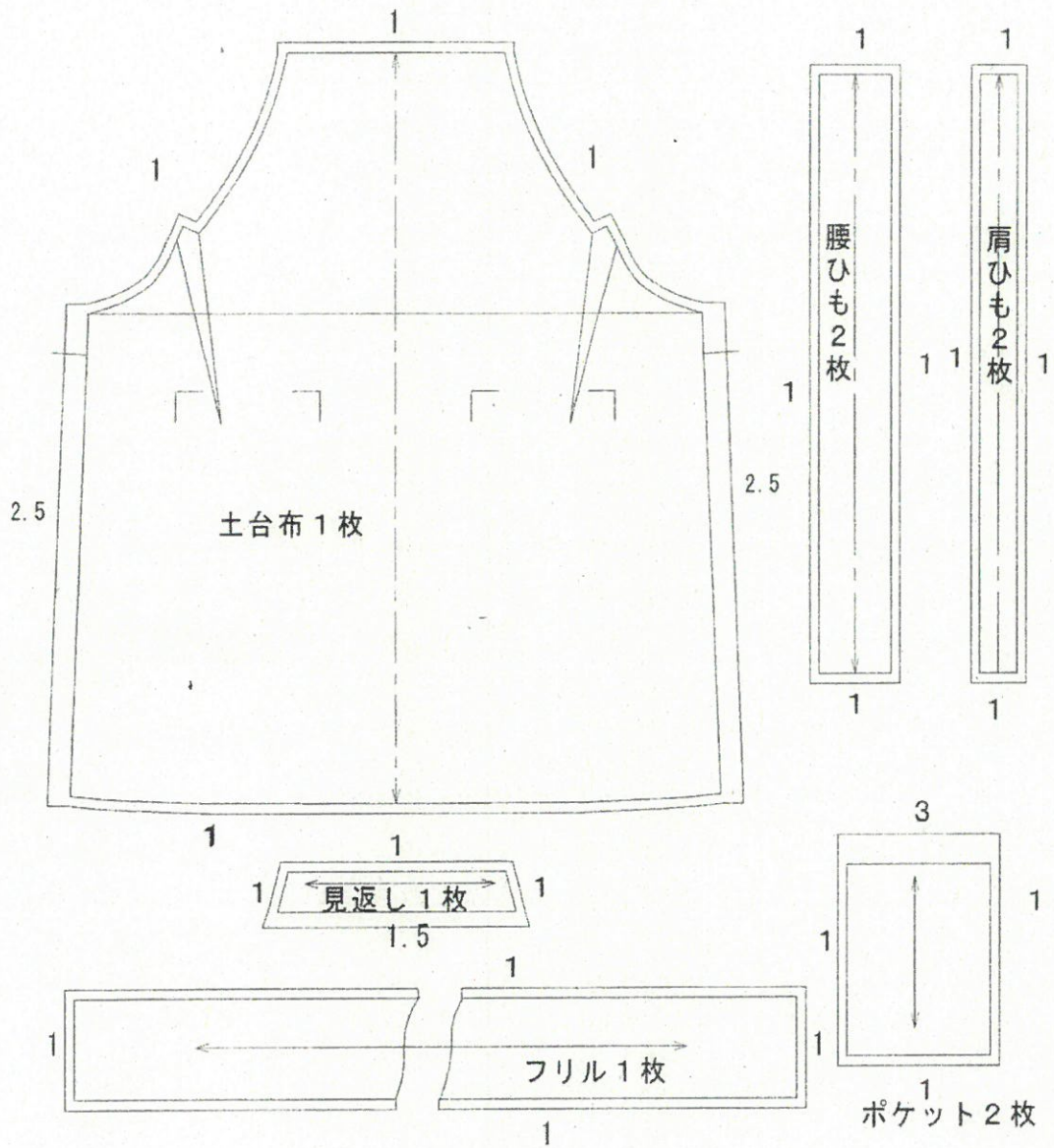
2 競技会場に準備してあるもの

品名	規格	数量	備考
作業台	1500×450	適宜	

エプロン (技能競技大会課題製図)



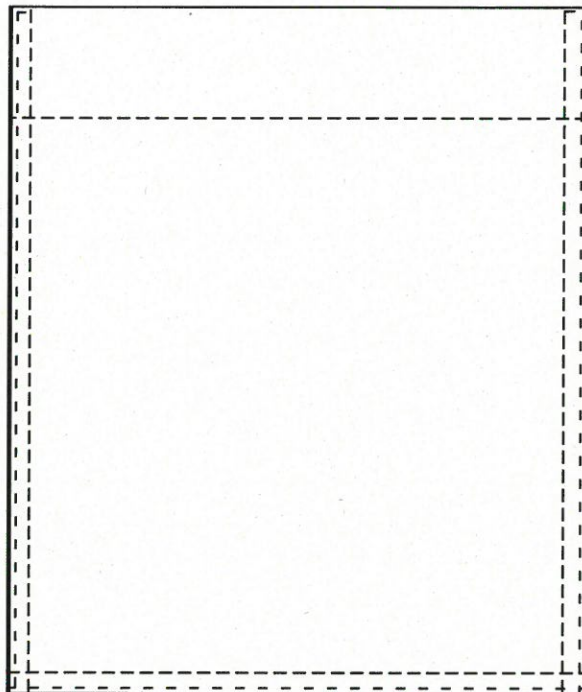
エプロン (技能競技課題)



ポケットの付け方

(図1)

押さえ金の幅(0.6)



縫い始め

縫い終わり

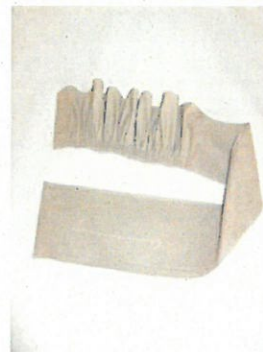
(重ね縫い2cm)

端ミシン

参考写真



完成写真



フリル